新聞記事データベースの活用支援

＜抄録＞
学校図書館は、資料の充実だけでなくその活用までを考えた支援が必要である。新聞記事データベースを生徒が知る、それを活用できるまでには、教科教師と連携し、まずは「使ってみる」という体験。そして「便利だ」と実感させることがから始める必要がある。

＜キーワード＞
学校図書館、利用指導、新聞記事データベース

1 はじめに
田園都市学園中等部高等学校は、東京都世田谷区にある中高一貫の私立女子校である。生徒は、中等部高等学校ともに1クラス平均40名程度が在籍し、1学年5クラス編成である。
図書館は、校庭の中央に位置し、どの学年からもアクセスが高い。蔵書数は約35,000冊で、全て電子化している。またインターネット環境整備済みで、図書館内ではパソコン6台、iPad15台が利用可能。新聞記事、百科事典データベースも契約しており、これらは校内のパソコンでも自由に活用できるようになっている。

2 図書館の利用指導
学校図書館は質的にも資料の充実はもちろんのことだが、それを活用することも重要である。情報を活用するには頻繁に教科教師と連携し、図書館の利用指導を行っている。例えば、各教科の課題学習や行事の事前準備等で、効果的な資料の検索・情報活用能力を身に付けるための指導をしている。
特にデータベースについては、「こういうものがある」とサービス名や検索機能の伝達だけではなく、其の活用方法もつかう一つである。本さいでは、学校図書の立場から生徒に新聞記事データベースについて、その位置を伝え、各個人が自由に活用できるようになるまでの例を紹介したい。

3 新聞記事データベースの授業活用事例
(1) 中等部3年 公民「新聞記事の探し方」
中等部3年の公民の授業では、生徒自身で新聞記事を材料に時事問題を取り上げて発表する「5分間ニュースキャスター」という取り組みがある。毎日、新聞を読み、興味を持った記事を探ることが前提であるが、新聞を取っていない家庭が年々増えている中、記事を探すことができなかった生徒もいる。そこで、図書館では図1のようなプリントを配付している。本プリントが、生徒が新聞記事データベースを活用する第一歩となる。これにより、関連の新聞記事を探すためにデータベースを活用する生徒がいる。

図1 データベース紹介プリント

(2) 高等部1年 情報「インターネット検索のコツ」
高等部1年の情報では、毎年データベースを利用した授業を教科教師と協働で行っている。当初は、図書館からの出前授業というかたちで、1コマ「インターネット検索のコツ」と題し、パソコン室で1人1台パソコンを操作させて実習した。
なるも主にネットでの情報収集の方法を伝えている。その中で、新聞記事データベースについても紹介し、簡単な課題を出した。例えば、「自分の誕生日の新聞を検索してみよう」といった課題は、生徒に提出であった。「朝刊1面の記事を検索し、文字数の多い記事を探す」など条件を示し、検索方法をあらかじめ示して目的の新聞記事を見つけるにはたいへん練習であった。Yahoo!やGoogleといった検索エンジンでの検索に慣れている多くの生徒は、必ず検索結果は出るものと誤解する。課題によっては、「何度も検索しても結果が出ません」と不満がもれ、質問が出る。そのときは、新聞の特性を伝える好機である。自分たちが今検索しているデータベースは「新聞」であり、休刊に注意したり、記事で使われるような言葉の選定が必要であったことを伝える。ただ、この実習だけでは、データベースの検索方法は理解しても、レポートなどの課題のときに自ら使ってみよう、という意欲を引き出すことは難しい。有料新聞記事データベースの存在や使い方はあらかじめ理解したもの、自主的な活用までは至らなかったのである。

そこで、次の年には新聞記事データベースを活用するのにふさわしい機会を設定する工夫した。「ルポ高齢者医療地域で支えるために」岩波新書（佐藤幹夫 岩波書店 2009）の一部より、二〇〇八年一月に東京都内で一人の女性が仮設の病院から搬送を断られた末、出産中に脳内出血で亡くなるという事件（国2例図1）とは、いつ、どこで見出しで報道されているのか、引用されている新聞記事「二〇〇八年六月十日付朝日新聞朝刊」（国2例図2）を実際に探すための方法を考えさせた。課題を改善したことで、生徒は、データベースの使い方と活用方法を一連の流れで理解することができ、今後他のレポートの課題などでも活用できそうだと見通しを持つことができたようだ。「もっと早くこのデータベースを使っていればよかった」という反応もあるった。

今年度は、より実践的に活用できるよう、家庭科と情報科の教員と相談し、「パワーポイントでプレゼンテーションをする」という形で、検索実習を取り入れることにした。家庭科との連携授業のため「ライフステージ」をテーマに、関連した情報を集めるなどし、方法を講ずることから始めた。新聞記事データベースの使い方を示しながら、個人のテーマにあった情報を収集し、プレゼンテーションにそれぞれ活かすことにより実践的になった。

4 まとめ

本校の図書館では、新聞記事データベースを10年前から導入している。導入当初は教科書、利用はなかなかさまれなかった。当時は紙面イメージを拡大する記事も少なく、市子の新聞朝刊版も併用しながら、「教材を採用するときに、どのように利用してみるか」といったことを教科書と同様に教科書にリフレッシュすることで、徐々に活用が広まった。最近のデータベースの改良はめざましい。例えば、朝日新聞記事データベース利用には、さまざまなメディアを活用し、活用する可能性が増えていることが重要である。